

第 二 外 科

【目的】

第二外科での実習対象症例は主に消化器外科（肝胆膵外科、上部消化管外科、下部消化管外科、内視鏡外科など）と移植外科（肝臓移植、腎臓移植、膵臓移植）であるが、治療対象の疾患のみにとらわれる事なく、術前・術後の全身管理を計画的、系統的に行うことを体験する。

【実習の重点】

医学科 5 年生の臨床実習での初歩的な診察、手術への参加からさらに進んで

- 1) 術前の検査データ解析、画像診断による全身状態および病態の評価
- 2) プレゼンテーション技術の習得
- 3) 術前・術後の全身管理
- 4) 基本的手術手技の習得とより高度なテクニックの学習
- 5) 病棟内指示系統を学び、医療スタッフとのコミュニケーション術の習得
- 6) 患者へのインフォームドコンセントならびにメンタル面の管理
- 7) 医学研究（トランスレーショナルリサーチ）カンファレンスへの参加

などの項目について、卒後 5 ～ 10 年目の中堅クラスの外科医に 1 対 1 でついで実習を行うシャドウプログラムを採用することにより、主治医と同じ立場で医療現場を体験し、自ら考え意見を発して積極的に議論に参加してもらい、卒後研修での即戦力、実践力を養うとともに外科学の幅広さと深さを体感してもらう。また、希望者においては、関連病院外科（県立広島病院、呉医療センター、中国労災病院、東広島医療センター）での 5 日間の臨床実習も経験できる。※ 県立広島病院以外は宿泊施設あり

スケジュール

	午前	午後
月 ※	カンファレンス、総回診、病棟	病棟
火	回診、手術	手術、病棟
水	カンファレンス、回診、病棟	病棟
木	カンファレンス、回診、手術	手術、病棟
金	カンファレンス、回診、病棟	回診、病棟

注) 午前集合は 7 : 30 から。急患や緊急手術の場合はこの限りではない。

カンファレンスでは、術前・術後症例のプレゼンテーションを経験する。

※ 初日の集合場所、7時30分に外来診療棟 5F カンファルーム 1, 2
月曜日が休日の場合、7時45分に病棟 8F 東ナースステーション

【評価】

学生の評価は以下のように行う。

評 価 項 目	配点
手術の流れを把握し、術者と助手の役割について理解	10
周術期全身管理に必要な知識を理解	10
外科的処置（清潔操作、ガウンテクニック）に必要な知識と手技	10
外科基本手技（糸結び、皮膚縫合など）の理解と実践	10
理学的所見（腹部所見）の診断と報告	10
担当した主要疾患に関係する血液検査、画像診断の理解	10
担当した主要疾患の症候、病態、診断、治療方針、術後合併症の理解	10
担当した主要疾患のガイドライン、EBM の理解	10
患者、家族、医療スタッフとのコミュニケーション能力	10
プレゼンテーション能力	10

【担当教官】

大段 秀樹	教 授	(肝胆膵外科、移植外科、上部・下部消化器外科)
田邊 和照	教 授 (保健学科)	(上部消化器外科)
惠木 浩之	准教授	(下部消化器外科)
小林 剛	特任講師	(肝胆膵外科、移植外科)
井手 健太郎	講 師	(肝胆膵外科、移植外科)
大平 真裕	助 教	(肝胆膵外科、移植外科)
田原 裕之	助 教	(肝胆膵外科、移植外科)
高倉 有二	助 教	(下部消化器外科)
黒田 慎太郎	助 教	(肝胆膵外科、移植外科)
森本 博司	助 教	(移植外科)
佐伯 吉弘	医科診療医	(肝胆膵外科、移植外科)
山本 悠司	医科診療医	(上部消化器外科)
濱岡 道則	医科診療医	(肝胆膵外科、移植外科)
河内 雅年	医科診療医	(下部消化器外科)